

信州の木活用モデル地域支援事業・森林づくり推進支援金（飯山駅関係、平成25年度～平成26年度実施）

I 信州の木活用モデル地域支援事業（H25・H26）

1 事業目的

平成27年春の北陸新幹線開通に向け、国際的な山岳高原リゾートを目指して周辺9市町村が一体的に広域観光に取り組む「信越自然郷」エリアの玄関口・ハブステーションとしてJR飯山駅が大規模に改修され、さらなる観光客等の入り込み、地域の活性化への寄与が期待されています。

これに加え、県では本年度新たに「信州 山の日」を制定したほか、世界水準の山岳高原観光地を目指す取組を強化しており、「信越自然郷」の取組との相乗効果が期待されます。

そこで、地域の皆様と協働して、飯山市街地や地域の観光拠点となる飯山駅観光交流センターを、北信地域の豊かな自然の恵みの象徴である「スギ材」等を使用して木質内装化し、地域住民や観光客の皆様にも木材の利用推進を広くPRすることを目的とします。

2 事業主体

長野県木材青壮年団体連合会 北信木青連

3 事業費（括弧内は補助金額）

| [平成25年度] | [平成26年度] |
|-------------------------|------------------------------|
| 2,669,400円 (2,500,000円) | 2,600,000円 (2,500,000円) ※見込み |

4 事業内容

| [平成25年度] | [平成26年度] |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 飯山駅周辺市街地の木質化（木製の新幹線モニュメント、プランターの製作） 木工イベントの開催 テレビ番組制作等、全県に向けたPRの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 飯山駅観光交流センターの木質化（手すり、一部壁面の木質化） 山岳高原リゾートアクティブセンターの木質化（壁面への木製モニュメントの設置等） 木工イベントの開催 テレビ番組制作等、全県に向けたPRの実施 |

5 本年度事業を実施する際の留意事項への対応状況について

- ◆ 地元住民参加の仕組みづくりについて
11月8日に実施した「飯山駅観光交流センターお化粧イベント」について、テレビ・ラジオCMや、飯山市の広報誌等を通して参加を広く呼び掛け、約200名が木製パネル設置に参加しました。
- ◆ ソフト面での仕組みづくりについて
SBCテレビのエコロジー最前線（12/13 17:00から15分間の予定）で当該事業の番組を全県で放送するほか、市のホームページや広報誌等で、当該事業の内容を発信していただきます。

- ◆ 製品の適正配置による効果的な演出、洗練されたデザインについて
公共建築物等への木材利用に関する設計・デザインの第一人者をアドバイザーとして招聘し、森林づくり推進支援金を活用した事業と併せて、様々なご意見をいただいています。
 - ・武田光史 氏（日本工業大学教授 [建築・空間設計]
 - ・小野寺康 氏（小野寺康都市設計事務所）
 - ・南雲勝志 氏（ナグモデザイン事務所）
- ◆ 森林税活用の表示について
当該事業で設置した全ての木製品に、森林税を活用した旨の表示をします。

[平成25年度の事業実施状況]



モニュメントの製作



イベントでのモニュメント飾り付け



木製プランターの設置状況

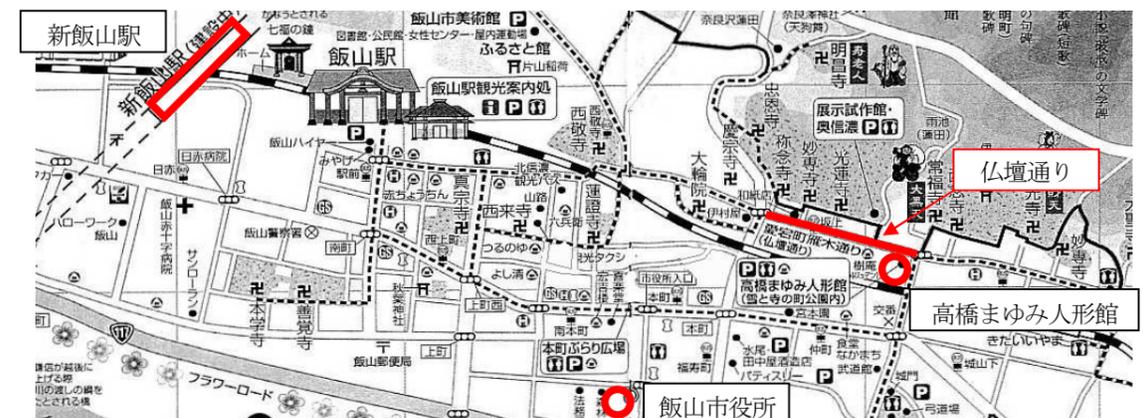


イベントでのモニュメントお披露目



木工イベント

※木製プランターは飯山市の観光名所である愛宕町雁木通り（通称：仏壇通り）に設置しました。



[平成 26 年度の事業実施状況及び事業計画]

壁面木質化

デザイン案(H27.2月設置予定)
地域のシンボルである北信五岳をデザイン

実施イメージ(県庁会見場)

2階

多目的交流スペース

エスカレーター

1階

山岳高原リゾート
アクティブセンター

広域観光案内スペース

エスカレーター

手すり木質化

壁面木質化

実施前

実施後

実施状況

実施前

実施後

11月8日のイベントの状況(県内外の約200名が参加)

II 森林づくり推進支援金 (H26)

1 事業目的

飯山駅観光交流センター内に、地域材を使用した木製の備品を設置することで、信州の木活用モデル地域支援事業による当該センターの内装木質化と合わせて相乗効果を上げ、駅を訪れた地域住民や観光客の皆様が木材の利用推進を広くPRすることを目的とします。

2 事業主体

飯山市

3 事業費

1,262,000円

4 事業内容

センター内エスカレーター下部スペースへの木製品設置

[平成 26 年度の事業計画]

